

決算の内容が分かりにくい・・・



月収30万円の「大野さん」の家計簿で例えてみましょう。



大野さんちの令和4年度決算

大野市の令和4年度一般会計決算（歳入約197億円、歳出約189億円）を、月収30万円（年収360万円）の「大野さん」の家庭に例えて家計簿を作りました。

なお、参考として記載した前年度（令和3年度：歳入約204億円、歳出約194億円）の金額は、令和4年度の決算額を月収30万円とした場合に、いくらになるかを計算し、比較対象としました。

○大野さんちの1ヶ月あたりの収入

項目	金額（円）	前年度（参考）	
給料	↑ 70,600	69,000	（市税、使用料、手数料など）
親からの援助	↓ 194,000	210,000	（地方交付税、国県補助金など）
貯金の引出し	↑ 10,000	5,000	（基金繰入金など）
借金	↓ 10,800	12,200	（市債）
前月からの繰越金	↑ 14,600	13,700	（繰越金）
合計	↓ 300,000	309,900	

前年度と比べて、「給料」などは増えてましたが、「親からの援助」、「借金」が減り、全体的には約3%収入が減少しました。

収入の2/3を占める「親からの援助」は、親（＝国・県）の経済状況等に左右されます。市税などの自主財源を確保するためには、企業誘致や地域産業振興などの取組みによる税収増加のほか、使用料・手数料の適正化、保有資産の売却・有効活用など、社会経済情勢の変化などをふまえた見直しが必要です。

かめじろうの
財政診断



○大野さんちの1ヶ月あたりの支出

項目	金額 (円)	前年度 (参考)	
食費	↑ 51,400	50,300	(人件費)
医療費など	↓ 50,800	58,200	(扶助費)
日用品・光熱水費	↑ 47,300	44,700	(物件費)
修繕・修理代	↓ 12,200	17,600	(維持補修費)
子への仕送り	↑ 62,500	58,200	(繰出金、補助費等など)
借金の返済	↓ 21,000	22,800	(公債費)
家の増改築など	↑ 25,700	23,700	(普通建設事業、災害復旧費)
貯金	↓ 16,800	19,800	(積立金)
合計	↓ 287,700	295,300	

令和3年度に子育て世帯への臨時特別給付金を給付したことなどにより、「医療費など」が前年度と比べて大きく減少しています。「修繕・修理代」なども減少したため、全体では約3%支出額が減少しました。

過去10年間程度の決算を見ると、人件費や公債費は横ばいですが、扶助費、物件費、補助費等などは増加傾向にあります。扶助費は児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費で、繰出金や補助費等にも同様の経費を多く含んでおり、こうした社会保障関係経費は今後も増加傾向が続くものと予想されます。しかしながら、こうした経費はその性質上削減が困難なため、全体的な事業や業務内容の見直しに一層努め、健全で柔軟な財政運営を図っていくことが必要です。

かめじろうの
財政診断



○大野さんちの借金と貯金 (令和4年度決算額を年収360万円とした場合)

項目	金額 (円)	前年度 (参考)
借金	↓ 2,210,700	2,327,600
貯金	↑ 1,047,600	954,400

借金は年収の約6割、貯金は前年度より増え、月収の約3か月分となっています。今後も、借金を抑え貯金を増やしたいところです。

※一般会計に係る令和4年度現在高